

成26年度末に100%に、また町立病院も、東和病院東棟改築工事が完了する平成25年度には耐震化率100%となる見込みです。さらに、拠点避難施設において平成22年度から着手した防災備蓄倉庫13カ所4000人分の避難用品などの備蓄に引き続き、今年度は浮島、情島などの有人4島に防災備蓄倉庫を整備することとしております。

昨年8月に報告された、南海トラフの巨大地震による本町の最大震度は6弱、最大津波高は4メートルと推計され、津波の最短到達時間は108分と予想をされております。

こうした被害想定をふまえ、国や県の防災計画の修正に合わせ、本町の地域防災の要となる「地域防災計画」を見直すとともに、津波浸水想定区域等を示した津波ハザードマップを作成し、全世帯に配布をいたします。

また、災害時に被害を少しでも小さくするためには、地域の支え合いが必要で、各自治会等を単位とする自主防災組織の設立促進を図り、「公助」と連携した「自助」と「共助」による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域のきずななど防災力強化の取り組みをより一層進めてまいります。

第3は「健康づくり」

次に、第3として、「健康づくり」であります。

健康は、元来、一人ひとりが主体的に取り組む課題ですが、個人の力と併せて、社会全体としても個人の自主的な健康づくりを支援していくことが必要です。

人口の急速な高齢化が進む中で、疾病構造が変化し、がん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病が増加しています。生活習慣病は自覚症状が現れないうちに進行し、ついには重篤な症状に至り、毎日の生活の質を著しく低下させます。

健康寿命をさらに延ばし、元気で明るい高齢社会を築き上げていくにはこれらの疾病の早期発見、早期治療にとどまらず、自らが積極的に健康づくりに取り組み、生活習慣の見直しを行うなど疾病を予防する対策が必要となっています。こうしたことから、健診の受診率を高めるとともに、健康づくりに必要な情報の提供を行い、住民と行政が協力しながら健康づくりを推進してまいります。

これら3つの重要課題への取り組みと、私が従来から推進してまいりました地域に密着した事業を中心に、初心を忘れることなく「まじめに、誠実に、地道に、謙虚に、そして確実に」をモットーに町政運営に邁進してまいりたいと決意いたしております。

議員各位と町民のみなさまの、いつものご理解とご支援を、重ねてお願いいたします。

再編交付金で事業を実施しました

平成19年度から、「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」第6条の規定により、在日米軍再編による住民生活の安全に及ぼす影響が増大する市町村に対し、公共施設の整備、住民生活の利便性向上や産業の振興に寄与する事業を対象に、国から再編交付金が交付されています。周防大島町には、平成24年度に1億3,169万2千円が交付され、次の事業を実施しました。

○防災に関する事業

- ・衛星携帯電話整備事業（6台） 150万円
- ・漁港陸閘整備事業（実施設計） 2,110万円
- ・防災車両整備事業（1台） 600万円
- ・ヘリポート整備事業（東和地区） 360万円

○教育、スポーツおよび文化の振興に関する事業

- ・浮島小学校屋外倉庫整備事業 1,028万7千円
- ・明新小学校屋内運動場改築事業 1,624万3千円
- ・東和中学校屋内運動場改修事業 2,816万2千円
- ・外国語活動推進事業 860万円
- ・送迎車両整備事業（3台） 1,920万円

○環境衛生の向上に関する事業

- ・橘斎場備品整備事業 1,700万円



▲ヘリポート整備事業



▲東和中学校屋内運動場改修工事